



医療
分野

個別ユーザの認知的特性診断に基づく対話を通じた介護支援コミュニケーションロボットの開発

人の心理的側面に踏み込んだ知的交流としてのコミュニケーション機能を備える寄り添い(介護)ロボットを開発する。会話にはAI技術(知識モデリング/機械学習技術)を活用し、介護対象者の個性や心理状態などを捉えた自然なコミュニケーションを通じて介護を必要とする高齢者の自立を支援する寄り添いロボットの事業化を行い、介護・福祉機器として実用化を目指す

現状 背景

- ・ 日本は高齢化が進み、「超高齢化社会」に突入しており、要介護者を抱える家族や介護従事者の負担軽減が求められている
- ・ 介護従事者によるケアは物理的な面に比重が置かれ、要介護者の心理的な側面のケアによるQOLの向上が求められている

開発 目標

- ・ 高齢者の日常生活に自然に溶け込むパートナーロボットの実現
- ・ 搭載機能：ユーザーの嗜好性を捉え、表現や記憶を引き出す会話機能、センサーを通じた24時間の見守り、リハビリ機能、周囲の状況を捉えるセンサーによる異常検知)

先進性

- ・ ユーザ(介護者/被介護者)の認知的な特性、趣味/嗜好など、個人依存性の高い特性を捉えた上でなされる心理的側面のケアを目標とした会話システムを実現

事業化 目標

- ・ 2021年4月から販売開始し、要介護者等がいる一般家庭、及び介護施設等への販売を目指す

事業者 概要

《事業者名》富士コンピュータ株式会社 《事業内容》みんなが自分らしく生きる共生社会の実現を目指すを企業理念として掲げ、大手電気・製鉄・IT企業のパートナーとして、ソフトウェアの開発、コンピュータ機器の販売、経営コンサルタント業務、WEBシステム開発、CG・CM制作、IT教育事業（情報技術学院）、自然食品販売企画などを展開 《創業》1979年8月 《住所》兵庫県加古川市加古川町稲屋790-1 《HP》 <http://www.fujicomp.co.jp/>
《問合せ先》080-3833-7318(担当：蓬莱)



介護支援コミュニケーションロボット ふくちゃん